

# 令和6年度岡山県アレルギー疾患医療連絡協議会 次 第

日時：令和7年1月31日（金）

17:00～18:30

場所：岡山県庁3階 大会議室

## 1 開 会

## 2 会長選出について

## 3 議 事

### (1) 今年度の取組について

ア 岡山アレルギー疾患講演会について

資料1

イ アレルギー疾患拠点病院関連事業について

資料2

ウ アレルギー疾患専門医療機関リスト化調査の公開について

資料3

### (2) 来年度の取組について

資料4

### (3) その他

## 3 閉 会

岡山県アレルギー疾患医療連絡協議会委員名簿

R6. 11. 21現在

役 職	氏 名	備 考	出席者
南岡山医療センター 名誉院長	宗田 良	医療機関（拠点病院）	○
南岡山医療センター 院長	谷本 安	医療機関（拠点病院）	○
岡山大学学術研究院 保健学域 検査技術科学（岡山大学病院 呼吸器・アレルギー内科）教授	宮原 信明	医療機関（拠点病院）	○
岡山大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科 助教	牧原 靖一郎	医療機関（拠点病院）	
岡山大学学術研究院 医歯薬学域 小児急性疾患学講座 准教授	津下 充	医療機関（拠点病院）	○
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 皮膚科学分野 教授	森実 真	医療機関（拠点病院）	
岡山県医師会 副会長	神崎 寛子	専門医療従事者	○
岡山県薬剤師会 常務理事	村川 公央	専門医療従事者	
岡山県栄養士会 会長	坂本 八千代	専門医療従事者	○
岡山県看護協会 会長	二宮 一枝	専門医療従事者	○
岡山県教育庁保健体育課 課長	片岡 敏行	教育関係者	○
岡山県愛育委員連合会 副会長	浅野 ツヤ子	県民	○
岡山県栄養改善協議会 会長	中島 玲子	県民	○
岡山県保健所長会	宮原 勅治	備北保健所長	○
岡山県保健医療部健康推進課 課長	北村 幸治	岡山県職員	○

[出席者]

南岡山医療センター 看護部/アレルギー疾患医療拠点病院対策室 小児アレルギーエドゥケーター アレルギー疾患療養指導士	黒岡 昌代	
岡山県教育庁保健体育課 指導主事（副参事）	井上 典子	

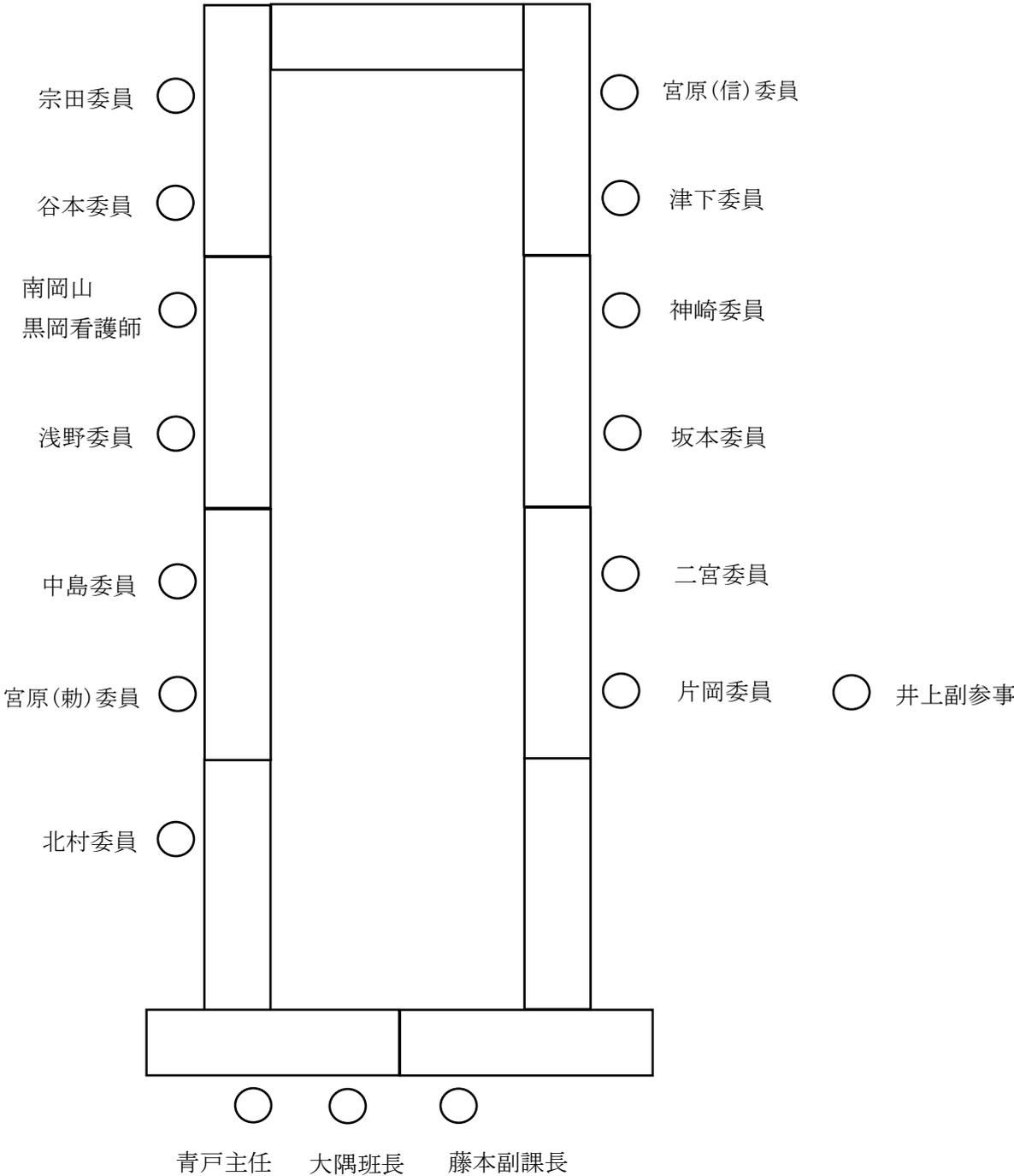
事務局 保健医療部健康推進課  
 副課長 藤本 貴久  
 総括参事 大隅 眞嗣  
 主任 青戸 沙紀子

令和6年度岡山県アレルギー疾患医療連絡協議会 配席図

日時：令和7年1月31日(金) 17:00～

場所：岡山県庁3階大会議室

会長



出入口

傍聴席

# アレルギー疾患対策推進事業 岡山アレルギー疾患講演会

岡山国際交流センター 2階 国際会議場

2024年 2月4日(日) 開場 12:30 終了 16:00

講演……先着申込順 120名



講演 1 13:00 ~ 14:00

「子どものアトピー性皮膚炎と食物アレルギー」  
～予防と治療に役立つ最新情報～

講師 国立成育医療研究センター  
アレルギーセンター長 大矢 幸弘 先生

講演 2 14:00 ~ 14:40

「食物アレルギーにおけるアナフィラキシーへの対応」

講師 岡山大学 学術研究院 医歯薬学域  
小児急性疾患学 准教授 津下 充 先生

会場での講演後実践型研修を行います……………先着申込順 42名

- エピペン®トレーナーの使用方法について
- ロールプレイ
- グループワーク(ロールプレイの感想や意見交換)

※ 実践型研修のみの参加はできません。  
※ 実践型研修は、医療従事者・栄養士・教育保育職の方のみの参加に限らせていただきます。



## WEB 配信

2024 2.16(金) ~ 3.10(日)

※会場での講演及び実践型研修を動画配信します。  
※WEB配信のみ希望の方も事前のお申込みが必要です。  
※会場での参加希望の方もWEB配信を視聴いただけます。

### 講演会参加対象の方

- 医療従事者の方
- 教育・保育関係者等アレルギー疾患に関わる専門職種の方
- アレルギー疾患に関心のある方

参加希望の方は事前のお申込みが必要です。お申込み方法については裏面をご覧ください。

### お問い合わせ先

(独) 国立病院機構南岡山医療センター  
アレルギー疾患医療拠点病院対策室

〒701-0304 岡山県都窪郡早島町早島 4066

電話：086-482-1121 FAX：086-482-3883

E-mail：505-minami-arerugi@mail.hosp.go.jp

主催：(独) 国立病院機構南岡山医療センター、岡山大学病院、岡山県

共催：(公財) 日本アレルギー協会中国支部

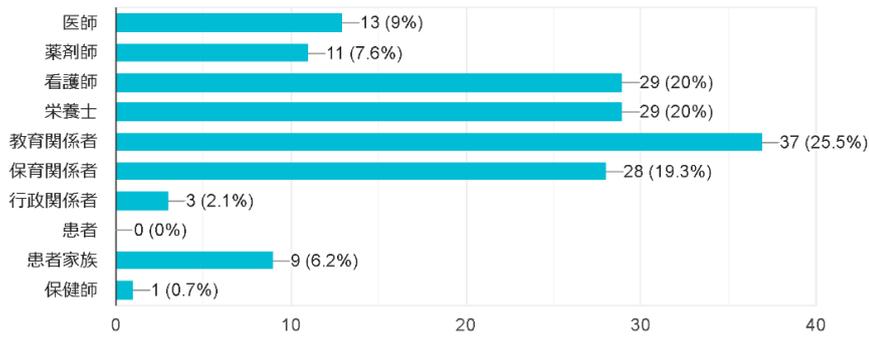
後援：岡山県教育委員会、岡山市、倉敷市、早島町、(公社) 岡山県医師会、

(公社) 岡山県看護協会、(一社) 岡山県薬剤師会、岡山県病院薬剤師会、

(公社) 岡山県栄養士会、山陽新聞社、RSK山陽放送

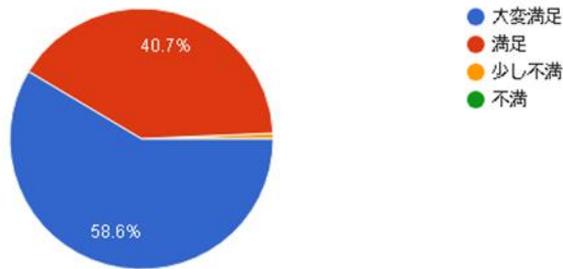
1.回答される方の属性を教えてください（複数回答可）

145件の回答



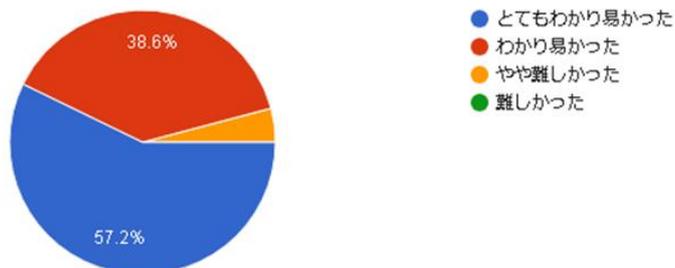
2.講演内容について感想を教えてください

145件の回答



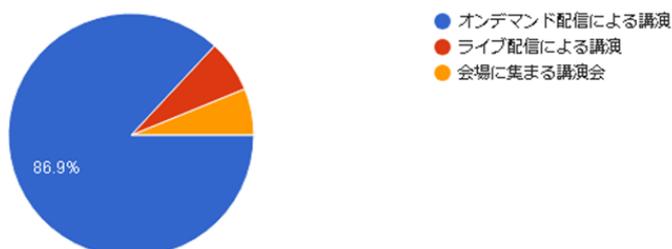
3.講演内容はわかり易かったですか

145件の回答



4.今後の講演会について、どのような形式だったら参加したいか教えてください

145件の回答



## 5.本講演会についてご意見やご希望を入力してください

- ・大変有意義な研修でした。とても参考になりました。(教育関係者)
- ・仕事(出張)扱いにできるならありがたい(栄養士)
- ・医療従事者として、患者の親としてとても勉強になりました。  
親として炎症性上皮疾患を寛解させます。湿疹の有無に関わらず、医師の指示通りに受診します。  
医療従事者として、上記を指導時に強調します。(薬剤師)
- ・アレルギーでは、大変著名な大矢先生のお話はとてもわかりやすかったです。(教育関係者)
- ・0～2歳までの給食を担当している栄養士です。年々アレルギー症状のある園児が増えています。最近家庭においてアナフィラキシーを起こしたと言う0歳児がいます。園では完全除去食の給食を提供していますが、もし、園でアナフィラキシー症状になったらと、怖くなりました。文献等での理解だったため、具体的な映像での症状、対応に衝撃を受け、もっと理解せねばと……。この公演に参加出来て大変良かったです。ありがとうございました。(保育関係者)
- ・スライド資料が要点だけでも欲しかった(看護師)
- ・アナフィラキシーショックやエピペン投与時間により、予後が左右されることを再確認できた。エピペン投与についての知識も広がった。(行政関係者)
- ・動画がわかりやすかったです。(教育関係者)
- ・アトピー性皮膚炎と食物アレルギーとの関連について初めて知ることが多く、勉強になりました。乳児湿疹の治療については、広く周知できればよいな、と感じました。(教育関係者)
- ・緊急時の判断や対応について、具体的に学ぶことができました。動画は学校での校内研修で使用したいです。使用可能であれば、ダウンロードできるサイト等が知りたいです。よろしくお願いします。(教育関係者)
- ・次回は、実際に会場に行き、エピペンの実技等参加したいです。(看護師 保育関係者)
- ・乳児期の湿疹がその後のアレルギーに大きな影響を及ぼしているとは知りませんでした。とてもわかりやすい講義で、勉強になりました。(教育関係者)
- ・勉強になりました。(医師)
- ・最新の情報を常にアップデートすることで、市民の方にも正しい情報を届けることができ、大変有意義です。(行政関係者)

- ・最新の情報をわかりやすくお話していただき勉強になりました。ありがとうございました。  
資料があればよかったですと思います。(教育関係者)
- ・エピペン使用に関する動画が大変良かったため、園内での共有できるように動画の公開先が知りたいです。  
(看護師 保育関係者)
- ・毎年受講しています。最新の臨床に基づいた情報を教えてくださりとても勉強になります。職場へも還元して教職員での共通理解していきたいです。(教育関係者)
- ・アトピー性皮膚炎は、園でも子ども達の中にいるのでこれからの園生活の中でとても参考になりました。また、エピペンについても動画で実際にどう行動するのがいいのかが話だけでなく分かりやすく勉強になりました。  
(保育関係者)
- ・自分の仕事の都合に合わせて視聴でき、聞き逃した部分も聞き返すことができ、とても良い研修になった。  
日頃から疑問に思っていたことも聞いて良かった。(教育関係者)
- ・エピペンの効果や打ち方は研修で学んできたが、医療機関での対応は初めて知るものもあり、大変勉強になった。(教育関係者)
- ・最新の知見をわかりやすく教えてくださりありがとうございました。(薬剤師)
- ・Web 視聴で、自分のよい時間に視聴できるので、とても良かった。(保健師)
- ・最新の情報を得ることが出来た、保育所での保護者支援には役立つと思う。医師の治療方針や処方内容に差がある場合には難しいと感じた。(看護師)
- ・動画視聴のみで資料が手元にないのであると もっと分かりやすく、見やすかったと思う (保育関係者)
- ・レジュメがあるとより良かったです (保育関係者)
- ・これまで受けてきた研修はどれも手元に資料があったのでより分かりやすかったので、パウポの資料だけでもあるとより良かったと思う (保育関係者)
- ・幼児の命に関わる対応については、日頃から知識として知っておき、対応についても研修を重ねていつでも実践できるようにしておくため、このような講演会は大変有効であると思います。(教育関係者)
- ・スピーカーのスピーカーのスペックによるものだと思いますがやや聞き取りにくかったのが唯一残念です。  
動画を止めてスライド内容をゆっくり読むこともできました。アレルギー、アナフィラキシーについて改めて勉強できよかったです。今後の学校薬剤師活動に活かしていきたいと思います。(薬剤師)
- ・分かりやすかった (薬剤師)

- ・アトピー性皮膚炎の考え方、治療法は常に新しくなっていると思いました。新しい情報を知ることの大切さを感じました。(保育関係者)
- ・動画が分かりやすかったです(保育関係者)
- ・食物アレルギーの予防についてももう少し詳しく知りたいと思いました。湿疹の早期徹底的治療の重要性についてはよく分かったのですが、抗原食物の早期摂取、経皮感作が成立する前に早めに食べさせて経口免疫寛容を誘導するということを知りたいと思いました。全卵や牛乳は早めに摂取させて方が良いということでしょうか？分かりやすい多くの学びのある講演会でした。ありがとうございました。(看護師 保育関係者)
- ・オンデマンドによる配信をしていただき、大変ありがたく思っています。また、最新のデータをお示しいただき、参考になる内容でした。ありがとうございました。(栄養士 保育関係者)
- ・動画を見ることで、エピペンを早急に打つ必要性がよくわかった(栄養士)
- ・乳児湿疹の経皮感作が食物アレルギーを引き起こす原因となっていることを学んだ。わかりやすい講演をありがとうございました。(看護師)
- ・食物アレルギーにおけるアナフィラキシーへの対応についての動画が分かりやすく、実践訓練にもつながるものでした。(看護師・栄養士)
- ・とても良い学びになり、今後の患者対応に活かせると思いました。ありがとうございました。(看護師)
- ・動画もあり、エピペン使用手順がよく理解できました。ありがとうございました。(看護師)
- ・食物アレルギーとアトピー性皮膚炎の関係に驚いた。食物アレルギーだけでなく、その子の皮膚にも注目し、保護者への情報提供にしていきたい(栄養士)
- ・現在、エピペン持参の園児は通っていないが、将来このような対応が冷静にできるように職員間で練習、情報共有していきたいと思う。(栄養士)
- ・資料があると、後で見直すこともできるので、可能なら資料があるといいなと思いました。(教育関係者)
- ・スキンケアの大切さを改めて再確認しました。写真等あり分かりやすかったです。保護者の方に説明しているが、なかなかスキンケアの出来ないお子さんの多いことが気になります。今後理解していただけるように役立てたいと思います。(看護師)
- ・アトピー性皮膚炎の子供にアレルギーになりやすい理由がよくわかった。皮膚状態が少し改善したからといって、塗布をやめるのではなく、きれいに治すことが大切とわかってよかったです。(教育関係者)
- ・ビデオがわかりやすくてよかったです(教育関係者)

- ・我が子も食物アレルギーがありアナフィラキシーショックの経験があります その時のことを思い出しあと少し対応が遅れていたらと思うととても辛かったです改めてアレルギーの怖さと落ち着いて迅速な対応をすることの大切さを振り返ることができました。本人はまだ4歳ですが、自分でもアレルゲンに対する知識、対処法を身につけられるよう少しずつ繰り返し伝えて行きたいです。保育園ではもちろん保護者が見えていないところでも何が起こるかわからない、本当に大人が注意して子どもの命を守っていくべきだと痛感しました。わかりやすい講義と動画でした。ありがとうございました。(看護師 患者家族)
- ・映像になって見れたので、リアルに早期対応の重要性が分かりやすかった (看護師)
- ・本校でエピペンを処方されている子どもが在籍しているため、とても勉強になりました。教職員への研修も、年に2回(エピペンの打ち方・シミュレーション研修)行っているの、今回学んだことをいかしたいと思います。ありがとうございました。(教育関係者)
- ・とても参考になりました。ありがとうございました。(栄養士)
- ・ステロイドに対する考え方が変わりました。(看護師)
- ・エピペン投与の動画がとても分かりやすかった (保育関係者)
- ・エピペンを使用するまでのシミュレーション動画が大変わかりやすかったです。学校の職員研修でも視聴できたらと思います。貴重な研修をさせていただき、ありがとうございました。(保育関係者)
- ・園内でもエピペン対応について研修していきたい (看護師)
- ・エピペンの使用方法を学ぶことができてよかった。(栄養士)
- ・アレルギーのお子さんがおられる保護者に視聴してもらえよう園・学校をとおしてお知らせしてもらい正しい知識を身に付けてもらえるとよいと思いました (看護師 患者家族)
- ・オンデマンド配信期間がながくてありがたかった。  
薬の情報もすごくわかりやすくて、患者さんへの伝え方の参考になった。  
ステロイドは怖がる方も多く、少量になることがおおいので。正しく使えば綺麗に治ることがわかる写真もよかった。(薬剤師)
- ・乳児湿疹=食物アレルギーであることを認識できた。まずは湿疹のケアが大切であることが分かり、食物アレルギー患者が今後増えないような啓発が必要であると感じた。(栄養士 教育関係者)
- ・動画がとても分かりやすかったです。アナフィラキシー、エピペンについて理解しやすかったです。(教育関係者)
- ・知らないことも多くあり、勉強になりました (教育関係者)

- ・分かり易くてとてもよかったです  
エピペンの動画を校内での研修で、職員に視聴してもらいたいです（教育関係者）
- ・小学校で養護教諭をしています。講演①の方では、自分自身がアトピー性皮膚炎を既往していることもあり、とてもためになるお話でした。早めに治療を開始することで、食物アレルギーの発症を予防できることや、ステロイドは正しく使えば予後良好で、健康な皮膚で過ごせることなど、新たな知見とともに学べてよかったです。講演②の方では、改めてアナフィラキシーの対応を復習しながら聞けました。動画も医療的な視点からとても参考になり、ありがたかったです。  
希望として、講演の資料がいただけると、嬉しいです。（教育関係者）
- ・アトピー性皮膚炎と食物アレルギーの関係を知ることができ、とても勉強になりました。（栄養士）
- ・今回は会場で実地に参加できませんでしたが、また機会があれば参加したいです。  
専門用語もあり、難しいと感じることもありましたが、わかりやすく説明していただいたので良かったです。  
ありがとうございました。（保育関係者）
- ・大変わかりやすい講演で現場で勤務する者にとってとても勉強になる内容でした。講演の中にあつた食物アレルギーの動画は研修等で活用できればいいと感じました。（教育関係者）
- ・アレルギーの原因などがよく分かった。誤食誤飲などの危険性や対処法、またエピペンの使い方などが勉強になった。今後は現場で事故のないように確認体制を再度見直して、防ぐことができるようにしていきたい。  
（看護師）
- ・大変勉強になりました。（栄養士）
- ・エピペンの使い方と重要性がよくわかりました。（栄養士）
- ・アレルギー研修を初めて受講しました。丁寧な説明で聞きやすく、知らない情報、新しい情報も多々あり講習を受講できて良かったです。ありがとうございました。（看護師）
- ・スキンケアの重要性を再認識しました。貴重なお話をありがとうございました。（行政関係者）
- ・エピペン投与の動画がとても分かりやすかった（保育関係者）
- ・今まで一度も実際にアナフィラキシーショックに当たったことがありません。本や資料を見て準備していましたが、今回の研修で丁寧な説明と動画による流れや動きを見ることができたことで、自分の中でシュミレーションができ不安が軽減しました。有意義な時間になりました。ありがとうございました。（看護師）
- ・オンデマンド配信で復習をさせてもらいました。聞き逃しているところに気づくことができました。もっと長期に配信されることを希望します。（看護師）

## 6.今後のアレルギー疾患に関する研修についてご意見やご希望を入力してください

- ・実践研修は参考になるので、様々なパターンでできてもよい(栄養士)
- ・薬剤師研修の単位出して欲しい。  
または修了証とか、名刺の大きさのものがあると、一区切りとなって嬉しい。(薬剤師)
- ・食事について  
食材は勿論のことですが、調味料等について知りたいです。(保育関係者)
- ・軟膏や内服薬の正しい使い方について知りたいです(看護師)
- ・大人の喘息について事例をとおして学びたいです。(行政関係者)
- ・学校現場でのシミュレーション研修の仕方、工夫、アクションカード、改善点など詳しく研修したいと思います。(教育関係者)
- ・今回のように、視聴期間を長く設けていただくと、大変助かります。ありがとうございました。次回予定が合えば、シミュレーション研修にも参加してみます。(教育関係者)
- ・抗体などの生物製剤について(医師)
- ・ライブ配信、オンデマンド配信は、とても有り難いです。研修会は、今後もぜひ継続していただきたいです。  
(行政関係者)
- ・家庭の事情で、休日に講演会を聞きに行くことが難しいので、オンデマンド視聴もできてありがたかったです。  
現場の子どもたちへの対応にいかしていきます。(教育関係者)
- ・動画はとてもわかりやすく、イメージトレーニングしやすいです。年に一度しかみれないため、今後も継続してほしいです。(教育関係者)
- ・小児喘息や気管支喘息の子どもに関しての話等も聞かせてほしいです。(保育関係者)
- ・また、アトピー性皮膚炎について聞きたい(保健師)
- ・エピペンを実際に触ってみたい(保育関係者)
- ・今回のようにエピペンに実際触れての使用講習はとても良いと思います(保育関係者)
- ・アレルギー疾患の子どもが増えていると感じているので、保護者への対応の仕方なども学んでいきたいと思った(保育関係者)

- ・今回のように、実際の状況の動画などがあると大変分かり易かったです。(教育関係者)
- ・新しく進歩している治療方法を知ることができてよかった。その進歩にあわせて自分たちも勉強しなくてはならないと痛感した。(看護師 保育関係者)
- ・研修を定期的に開催していただけると嬉しいです。(薬剤師)
- ・このような研修を定期的に受講したいです。(保育関係者)
- ・命に関わることなので定期的に受ける必要があると感じました (保育関係者)
- ・保護者への分かりやすい伝え方  
アレルギー疾患について  
湿疹の早期徹底的治療の重要性や皮膚の具体的ケア  
食物アレルギー児の食事療法、即時型食物アレルギーへの備え など" (看護師 保育関係者)
- ・このような研修会を年1回は企画していただけるとありがたいです。(栄養士 教育関係者)
- ・アレルギー疾患別ではなく、その関連性をもう少し掘り下げて学びたい。(看護師)
- ・今後も参加させていただきたいです。よろしくお願いいたします。(看護師・栄養士)
- ・現在、保育園で離乳食や幼児食の同意書を作成しているが卵や牛乳は幼児食での同意書の欄に掲載している。各家庭で違うので何とも言えないが、早い段階での摂取を求めたほうがいいのか、今講演会を聞いて疑問に感じた (栄養士)
- ・今回のような WEB 配信があれば、行けなくても研修を受けることができるのでありがたいです。ありがとうございました。(教育関係者)
- ・大人になって発症しやすい甲殻類アレルギーは予防したり、改善したりすることは難しいのでしょうか？ (教育関係者)
- ・定期的に研修があれば参加したいです。(看護師 患者家族)
- ・災害時の準備や、他の施設がどのようにしているか等 (看護師)
- ・治療法がどんどん更新されていくので今後も知りたいです。(看護師)
- ・資料がなくて、メモを取っていても画面がすぐ切り替わるのでメモを取りにくかった。(保育関係者)

- ・学校や園でのシミュレーション動画があれば、教職員も緊急時の対応についてのイメージがわきやすいと思います。研修で使える資料などがあれば教えていただきたいです。  
大変お世話になりました。ありがとうございました。(教育関係者)
- ・1での内容と同じです(看護師)
- ・アレルギーについてまた、新しい情報があったら聞いてみたい。(栄養士)
- ・大人のアレルギーの治療(看護師 患者家族)
- ・今まで、かぼちゃで食物アレルギー反応は出たことがないが、血液検査で陽性が出ているため、摂取を控えるようにとの指示書を保護者が持参した。給食対応は現段階では、かぼちゃについての代替え持参としているが、これでよいのか。そのようなケースの場合の考え方を知りたい。(栄養士 教育関係者)
- ・オンデマンド配信による講演がいいです(教育関係者)
- ・オンデマンド配信による研修がいいです(教育関係者)
- ・今回の内容(資料)が少し難しかったので、もし可能ならもう少し一般向けに分かりやすくしてくださるとありがたいなと思いました。(理解力がなく、すみません…)(教育関係者)
- ・調理に関わることにはなりますが、大量調理におけるアレルギー児に対する対応についての講演会があると勉強になります。(栄養士)
- ・またぜひ開催していただきたいです。(保育関係者)
- ・保育現場では年齢の低い乳幼児なのでその対処方なども学ぶことができたら嬉しいです。ありがとうございました。(看護師)
- ・今後も機会があれば参加したいと思いました。(栄養士)
- ・今後も研修があれば積極的に参加したいです。(栄養士)
- ・アレルギーが起こった時の判断、対応などやエピペンの指導について教えていただきたいと想います。  
(看護師)
- ・Web配信で参加しました。自宅で視聴できて助かりました。次回も同様の方法であれば参加検討したいと思います。(行政関係者)
- ・資料がなくて、メモを取っていても画面がすぐ切り替わるのでメモを取りにくかった。(保育関係者)

## 岡山アレルギー疾患講演会

参加  
無料

2025年

2月16日(日)

岡山国際交流センター 2階 国際会議場

開場 12:30 終了 16:15 講演……先着申込順120名

講演会 13:00 ~ 15:00

## 講演1 アトピー性皮膚炎の最新情報

講師 川崎医科大学皮膚科学教室 教授 青山 裕美 先生

## 講演2 耳鼻咽喉科領域のアレルギー疾患

～知っておきたい鼻アレルギー・副鼻腔炎のはなし～

講師 岡山大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科 助教 村井 綾 先生

## 講演3 食物アレルギーとアナフィラキシーへの対応

講師 岡山大学学術研究院医歯薬学域小児急性疾患学講座  
准教授 津下 充 先生

## 講演会参加対象の方

- 医療従事者・教育保育関係者
- アレルギー疾患に関わる専門職種の方
- アレルギー疾患に関心のある方



実践型研修・個別相談 15:00 ~ 会場での講演後、実践型研修と個別相談を行います

※実践型研修と個別相談の両方への参加はできません



## 実践型研修 ……先着申込順 36名

- エピペン®トレーナーの使用方法について
- ロールプレイ
- グループワーク(ロールプレイの感想や意見交換)

※講演会を聴講された方が参加できます。

※実践型研修は、医療従事者・教育保育関係者の方に限らせていただきます。

## 個別相談

- 内科・耳鼻咽喉科・皮膚科・小児科の医師が個別の相談に応じます。
- 講演会当日、受付までお申し込みください。(人数に限りがあります)
- 相談時間はおひとり10分以内でお願いします。



WEB配信 会場での講演を動画配信します



2025年 2月20日(木) ~ 3月12日(水)

※WEB配信のみ希望の方も事前のお申込みが必要です。  
※会場での参加希望の方もWEB配信を視聴いただけます。

参加希望の方は事前のお申込みが必要です。お申込み方法については裏面をご覧ください。

お問い合わせ先

(独) 国立病院機構南岡山医療センター  
アレルギー疾患医療拠点病院対策室

〒701-0304 岡山県都窪郡早島町早島 4066

電話：086-482-1121 FAX：086-482-3883

E-mail：505-minami-arerugi@mail.hosp.go.jp

主催：(独) 国立病院機構南岡山医療センター、岡山大学病院、岡山県  
共催：(公財) 日本アレルギー協会中国支部後援：岡山県教育委員会、岡山市、倉敷市、早島町、(公社) 岡山県医師会、  
(公社) 岡山県看護協会、(一社) 岡山県薬剤師会、岡山県病院薬剤師会、  
(公社) 岡山県栄養士会、山陽新聞社、RSK山陽放送

令和 6 年度の拠点病院関連事業（南岡山医療センター）

1 早島町こども未来課より依頼

「アレルギーおよびエピペン講習会」における講義と実践型研修  
対象：早島町留守家庭児童会（放課後児童クラブ）の職員 20 名  
令和 6 年 6 月 12 日水曜日に開催した。

2 倉敷市医療給付課より依頼

「倉敷市ぜん息児のための水泳教室」における学習会での講義と実技指導  
対象：水泳教室へ参加する親子 6 組  
令和 6 年 7 月 24 日水曜日に開催した。

3 中心拠点病院（相模原病院）より依頼

「アレルギー拠点病院ネットワークを活用したアナフィラキシー症例集積研究」および「アレルギー拠点病院ネットワークを活用したアナフィラキシーの患者参画縦断的調査」への調査協力  
症例集積については 9 症例（2023 年 3 月～2024 年 10 月）報告した。

# 岡山県小児アレルギー疾患連携セミナー ～災害とアレルギー～

資料2-2

事前申し込みフォーム  
期限：8月23日（金）まで

- 日時：2024年 8月24日(土) 13:00～14:40
- 配信会場：第一セントラルビル **2号館 6F プルメリア** (ドン・キホーテ横のビル)  
住所：岡山県岡山市北区本町6-30 TEL：086-231-7724
- 開催形式：ハイブリッド開催 (現地聴講可能 (岡山駅東口から徒歩3分) / Zoom Webinar)
- 参加登録方法：[PC・スマホからはこちらをクリック](#) (QRコードからも登録可能)



写真提供：岡山後楽園

総合司会 岡山大学 小児急性疾患学講座 准教授 津下 充 先生

## Session1：講演パート (13:00～14:20)

演題① 『**災害が増えつつある今、小児アレルギー疾患への災害時対応を考える**』

演者：岡山大学 小児急性疾患学講座 准教授 津下 充 先生

演題② 『**岡山県の災害アレルギー対策の現状について**』

演者：岡山県 保健医療部 健康推進課 健康づくり班 主任 青戸 沙紀子 様

演題③ 『**管理栄養士の立場から見た食物アレルギー児の防災の実態**』

演者：岡山県栄養士会 会長 坂本 八千代 先生

演題④ 『**岡山県の災害薬事におけるアレルギー対応の現状と課題**』

演者：岡山県薬剤師会 災害対策特別委員会委員長 岡山大学病院 薬剤部 大川 恭昌 先生

演題⑤ 『**災害時のアレルギー対応 -小児アレルギーエドゥケーター-の立場から-**』

演者：南岡山医療センター アレルギー疾患医療拠点病院対策室 黒岡 昌代 先生

演題⑥ 『**災害時の医療～DMATの立場から～**』

演者：岡山大学病院 救命救急科 助教 塚原 紘平 先生

## Session2：ディスカッションパート (14:20～14:40)

※ディスカッションは案内状に記載されている役割者のみで実施いたします

テーマ： **岡山県の現状から対策を考える**

閉会の辞 岡山県小児科医会 会長 横山 裕司 先生

共催：岡山小児科医会 / 大塚製薬株式会社

後援：厚生労働省 / 岡山県 / 岡山県薬剤師会 / (公社)岡山県看護協会 / 岡山県栄養士会 / 岡山県助産師協会 / 全国保健師長会岡山県支部 / (公財)日本アレルギー協会中国支部

問い合わせ先：大塚製薬 (株) 岡山出張所 鹿山 聖史 (080-6795-7788)

※ご参加いただいた際は、ご自身の情報、WEB入室時に施設名、氏名のご入力をお願い申し上げます。ご登録頂きましたメールアドレスその他の個人情報は以下の目的に使用いたします。  
1. 弊社会員制のサイト(ログイン)の会員登録及び画面表示の最適化、2. 弊社からのe-メールマガジンおよび、MRからのe-mailによる連絡、なお、ウェブサイトの改善やMRからの情報提供の参考としてアクセスログ情報を活用させていただくことがあります  
また事前の承諾なく、大塚製薬株式会社の業務委託先を除く第三者に提供することはありません。個人情報は、弊社の個人情報保護方針に基づき安全かつ適切に管理致します。  
\*この講演会への参加には事前登録が必要です。参加時には氏名・講演会への参加用URLは転送をご確認ください。\*ログインの際には、ご施設名、お名前のご入力をお願い致します。\*講演会の録音/録音はご遠慮願います。



### 3 おかやま医療情報ネットとの連携

病院等を探ることができる「医療情報ネット」内のリンク集に、「アレルギー疾患専門医療機関リスト」へのリンクを掲載した。

The screenshot shows a navigation menu with several categories. The 'リンク集' (Link Collection) category is highlighted with a red border. Below it, the text indicates that the link collection for Okayama Prefecture is being displayed.

- じっくり探す 設備や対応内容などの医療機能情報から検索
  - 診療科目で探す
  - 場所で探す
  - 他の項目で探す
  - 対応することができる外国語から探す
- お気に入り病院等 お気に入り登録した医療機関などの一覧
  - お気に入り病院等
  - 比較候補一覧
- ご意見
- 満足度調査
- マイホーム登録
- 関係者ログイン
- よくあるご質問
- リンク集** (highlighted with a red box)
  - 岡山県のリンク集を掲載しています。



The screenshot shows the '医療情報ネット (ナビイ)' website. The breadcrumb trail is 'トップ > 岡山県 > リンク集'. The page title is 'リンク集'. A blue banner at the top reads '岡山県からのお知らせ'. Below the banner, the text '保険医療部健康推進課より' is followed by a link 'アレルギー疾患専門医療機関リスト', which is highlighted with a red box. A '戻る' (Back) button is visible at the bottom.

## 来年度の取組について

### 1 アレルギー疾患に関する研修

令和6年度と同様に、令和7年度も「岡山アレルギー疾患講演会」を実施する。

実施にあたっては、岡山県アレルギー疾患医療拠点病院である南岡山医療センターに委託する。

### 2 アレルギー疾患専門医療機関リスト化調査

令和5年度の調査時に使用した「岡山県電子申請サービス」を活用し、「アレルギー疾患専門医療機関リスト」の新規登録や変更等の申請フォームを常設し、定期的なリストの更新を行う。

併せて、年1回程度医療機関リストについての広報を実施し、医療機関へリスト更新への協力を呼び掛ける。

### 3 岡山県アレルギー疾患医療連絡協議会の開催

令和7年度は、令和8年2月頃の開催を予定している。

### 4 その他